

レベル	状況	チェック	状態像等
レベル A	障がい児者の状況		一人で日常生活を維持することが困難な状況にある。
			一人で判断することが難しく支援の必要性を申し出ることが出来ない。(療育手帳(A1.2)等)
			常時介護や人工呼吸器等医療ケアがあり、介護者がいないと生命に関わる状況にある。
	養護者の状況		養護者に生命にかかわる持病がある。
			養護者が高齢で一人しかいない。
	環境他		近隣に親族や協力者が全くいない
レベル B	障がい児者		声かけがあっても自分で決めるなど判断することが難しい(意思決定に支援が必要)
			支援者がいないと生活維持をすることが難しい
			年齢が65歳以上
	養護者の状況		養護者が持病があり定期的に受診し、経過観察を行っている
			兄弟や親せきが近隣に住んでいない
	環境他		
レベル C	障がい児者の状況		特性が強く初めての環境に対応するのに時間がかかる
			強度行動障害の状態像にある。(行動援護スコア10点以上)
			コミュニケーションをとることが困難
	養護者の状況		養護者が75歳以上
			両親以外に兄弟や親せきなど近隣に住んでいない。
	環境他		

○レベルA・・・緊急保護や自宅外での生活の場の確保など安心生活支援事業の登録を検討

○レベルB・・・緊急を想定した短期入所などの体験利用等積極的に進める。

○レベルC・・・平常時の支援の中に一人暮らしや支援の中で生活できる方法を検討

※一項目以上該当ありの場合、高いレベルの条件に従い支援を行う